



平成29年 盆踊り大会(吹揚小学校運動場)

8月20日、吉野病院グループの利用者様やそのご家族、ボランティアの方々、近隣の皆様と晩夏のひとつときを楽しみました。

吉野病院グループ基本理念

心あふれる医療と介護

地域に根付いた信頼できる病院(施設)

基本方針

- 患者様に対する温かい心配りと優しい思いやりを大切に、職員全員が患者様の満足できる医療、介護サービスに努めます。
- 地域の医療機関、福祉機関との連携を図り、地域に密着した医療、福祉サービスを提供します。
- 職員一同は地域の皆様に信頼される病院を目指して、常に医療技術と介護技術の向上に努めます。



患者様の権利

- 人格を尊重した医療を受ける権利があります。
- 安全かつ有効な医療を公平に受ける権利があります。
- 診療上必要な個人情報やプライバシーが守られる権利があります。
- 自分が受ける治療・検査の効果や副作用について、解りやすく理解できるまで説明を受ける権利があります。
- 所定の手続きにより診療録の開示を求めることができます。

吉野病院



医療法人 滴水会 吉野病院
院長 仁志川高雄

ごあいさつ

今年は、第72回 国民体育大会(9/30～10/10)・第17回 全国障害者スポーツ大会(10/28～10/30)が、愛媛県で開催されます。愛媛県での開催は、1953年の第8回大会以来の64年ぶりで、今回の大会愛称は、「愛顔(えがお)つなぐ えひめ国体」、スローガンは「君は風いしづちを駆け 瀬戸に舞え」、大会マスコットは、みきゃんです。今治市でもボート競技・ソフトテニス・バスケットボールなど10競技が予定されております。吉野病院も医師・看護師の救護班を派遣し今治医師会・行政と共に万全の体制で臨む予定です。

吉野病院は、昨年10月、4・5階医療・介護病棟(医療型病棟7床・介護病棟36床)を回復期リハビリ病棟43床へ転換致しました。回復期リハビリ病棟とは、脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などの病気で急性期を脱しても、まだ医学的・社会的・心理的なサポートが必要な患者さんに対して、多くの専門職種がチームを組んで集中的なりハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的とした病棟です。本年4月、リハビリスタッフを7名増員し、現在、23名(理学療法士(13名)作業療法士(6名)言語聴覚士(4名))で積極的なリハビリに取り組んでおります。7月からは、休日加算を申請し365日、休みなくりハビリをできる体制としました。今後も高齢者の方が豊かな生活が送れるよう、医療・介護・福祉の充実に努めます。

平成25年7月17日、18日に、吉野病院は、日本医療機能評価機構による医療機能評価の更新を受け、優秀な成績で3回目の更新を済ませました。平成30年3月に、一般病院1<3rdG:Ver1.1>での4回目の受審を予定しております。今回の審査も円滑に進む様に各委員会の益々の活動を期待します。

地域の皆様の健康増進に寄与できますように、職員一同努力して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

介護老人保健施設 燧園

燧園通所リハビリテーションでは、平成28年5月より1～2時間のご利用ができるようになり、約一年が経ちました。自宅へ訪問し、家屋環境や住宅改修のアドバイスや相談をさせていただくことで、利用者様のニーズや身体機能に合わせたより充実したリハビリテーションのご提供が可能です。また、自宅でも行えるような体操のご提案もしており、ご好評をいただいています。今後も、みなさまに寄り添った療法士としてリハビリテーションに取り組みます。笑顔で充実した生活が過ごせますように、生活のお困りごとはいつでもご相談ください!!



今治市地域包括支援センター 美須賀・立花

認知症サポーター養成講座

～認知症を正しく理解し、地域で支えよう～

当センターでは認知症になっても誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指して、「認知症サポーター」の養成に取り組んでいます。「認知症サポーター」は特別な何かをする人ではなく、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り、対応する「応援者」です。



学校での養成講座



地域での養成講座



介護事業所での養成講座



企業での養成講座



今治市の認知症サポーター数
11,635名(H29.3月末現在)



マスコットの「ロバ隊長」

今後も認知症サポーター養成講座を受講していただくことで地域の中で認知症の方や家族の方を支える輪が、より一層広がっていくことを願っています。関心のある方はお気軽に当センターにお声かけください。

居宅介護支援センターひうちでは、4名の介護支援専門員が介護申請の手続きや介護の相談、また病院から退院される際には入院先のスタッフと連携し退院後の生活の調整やサポートなどを行っています。今回、一時寝たきり状態の状態から、吉野病院でのリハビリ、燧園での短時間通所リハビリを経て、再び介護予防センターよしのでプールトレーニングができるまでに回復されました、檜垣博さん（95歳）にお話をお伺いしました。



檜垣 博さん

平成27年12月に自宅で転倒し、救急車で急性期病院に入院となり寝たきり状態（要介護5）になってしまいました。その時のことをお聞かせください。どのようなお気持ちでしたか？

檜垣さん

転んで頭や腰を打ち、怪我をして寝たきり状態になった時には、もう半ば諦めとった。もう介護予防センターよしのは利用できないだろうと思いました。でも、入院中に家族やデイ職員さんから励ましの言葉をもらい、「頑張ってまた予防センターよしに行こう」とやる気になりました。

急性期病院での治療を終えて、平成28年2月に吉野病院へリハビリ目的で転院されましたが吉野病院でのリハビリはどうでしたか？

檜垣さん

もう頑張って歩くだけです。歩く事で平衡感覚を回復、体得できました。リハビリをしてくれた若い職員さんからとにかく元気ももらいました。

具体的にはどういうリハビリをされましたか？

吉野病院リハビリ
兵頭 主任理学療法士

入院当初は、起き上がることも困難な状態でしたので、こちらでは積極的に筋力増強訓練や日常生活動作訓練を実施しました。退院時は1人で歩行器で移動し身の回りの生活動作も安全に行えるレベルまで向上しました。

リハビリの甲斐もあり、平成28年6月に退院に向けての調整を行いました。介護支援専門員とリハビリ職員とでご自宅を訪問し自宅の居室や浴室などの環境確認を行いました。その後、檜垣さんご家族、病院職員、在宅サービス担当で情報を共有し、スムーズに退院後の生活が送れるよう話し合いました。檜垣さんからは「予防センターよしに行きたい」と希望がありましたが、退院時の身体状態は、筋力、体力を見てもプールを使ったトレーニングが行なえるような状態ではありませんでした。そこで、病院から退院後は引き続きしっかりリハビリが行なえる燧園の短時間通所リハビリを利用することになりました。退院後に利用された通所リハビリはどうでしたか？



兵頭 主任理学療法士

檜垣さん

暑い季節に通所リハビリに通うのは、しんどかったけど、休まずに行きました。早くプールトレーニングを始めたかった。

具体的にはどういうリハビリをされましたか？

燧園通所リハビリ
短時間担当
森 作業療法士

介護予防センターよしのでプールトレーニングをしたいという目標がはじめてからありましたので、実際に介護予防センターよしのへ見学に行き、相談員の方とプールトレーニングに必要な体力・動作を相談しそのために必要な訓練を行いました。檜垣さんは、意欲も高く積極的に取り組まれていたため、徐々に歩行距離も延び、坂道等も歩いて移動できるようになりました。



森 作業療法士



約2ヶ月間の通所リハビリを経て、平成28年8月に念願の介護予防センターよしのへの利用ができるようになりましたね。その時のお気持ちはどうでしたか？

檜垣さん

正直、訓練ができるかどうか不安でしたが、自分が思っていたよりも身体は動きました。水の中だから怪我もしないでしょ？

介護予防センターよしのを利用し始めてから今年で7年目になりますね。要介護度も介護5→介護2になりました。現在も週2回、介護予防の為に訓練を頑張っておられますね。最後に一言お願いします。

檜垣さん

現状維持のために心掛けている事といえば、その日その日を元気に楽しく過ごす事です。私は、特に泳ぐのが好きなので、クロールも平泳ぎもしますよ。前と比べて大分足腰がしっかりしてきたような気がします。いつもみなさんから元気をもらっています。

こうした利用者様の喜びや頑張りが私たちもとてもうれしく思います。

吉野病院グループでは、急性期病院での治療後の患者様に、心身ともに回復した状態で住み慣れた自宅や社会に戻っていただくためにチーム一丸となり支援しています。



見事なクロールで泳ぐ檜垣さん



檜垣さんにお話を聞く
早野 介護支援専門員

こんにちは、ひうち園訪問看護ステーションです。

残暑厳しい日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は、訪問看護を利用して在宅で看取りをされた御家族から御意見をいただきましたので、御紹介させていただきます。

在宅療養では母の病状や病気の進行に対する不安は常にあり、介護と並行して自分自身の生活を営んでいかなければならない焦り等、介護者である家族の心身が健康で、療養環境が整っている中でも不安な事、疲れる事、悲しい事、迷う事など心の葛藤がたくさんありました。その中で体調が変化した時の対処方法や今後起こりうる病状変化を教えてください安心してました。家族が笑顔になれない時いつでも明るく訪問してくれて、母を笑顔にしてくれました。24時間いつでも変わらず訪問してくれる姿に心が救われました。

母の最期の時は落ち着いて冷静に家族揃って傍に付き添うことができ、何とも言えない貴重な時間を過ごすことができました。このような時間が持てたのも訪問看護師さんの長年の支えがあったからだ心から感謝しております。母の「あの看護師さんに話したら何でもなんとかなる気がするんよ」という言葉が忘れられません。ありがとうございました。

利用者様・御家族の一言が私たちの大きな励みになります。これからも、利用者様がよりよい在宅療養を継続できるようスタッフ一丸となり力になりたいと考えております。

何か困った事があれば、お気軽に御相談下さい。

連絡先：(0898) 25-8525

私たちは、自分らしい生活の応援者になりたいと思っています。

「わすれても、わすれないこと」

わたしのことがわからなくなったんだね
そんな遠くを見る目で見ないでよ
もう違う人になったの
それとも今までのあなたなの
応えてくれない毎日は
とてもつらい日々でした
わたしがちっちゃい頃
スーパーで迷子になったよね
買い物に夢中で
わたしを置いてきぼりにして
店員さんに囲まれて
心細くあなたを待っていた
今のあなたは
きっとそんな気持ちなんだろうね
わたしのことがわからなくてもいいよ

あなたにとって安心できる人になりたい
あなたを支えさせてください
今までわたしにそうしてくれたように
あなたを見守らせてください
この家でこの町であなたらしく暮らしてね
「もう帰らなきゃ」と
不安がるあなたの手を引いて
近所をひと回り
お月さまを眺めながら
昔話をしながら
あなたは……笑ってる
あの時迷子になったねと
笑っている
(略)
わすれても
こころの中ではわすれない

(2017.7.11 毎日新聞より)

看護小規模多機能 ひうち
シルバーマンション ひうち

合同七夕会

7月15日(土)に看護小規模多機能ひうち、シルバーマンションひうち合同で、七夕会を行いました。利用者の方や職員が書いた短冊や、飾りを付け賑やかに出来ました。そうめん流しでは、流れてくるそうめんをお箸で上手にすくい、普段あまり食べない利用者の方もこの時ばかりはお腹いっぱい食べられていました。家族様も参加され、七夕の歌を歌い、楽しく過ごされました。



願いを込めて短冊の笹飾り



そうめん流しも上手に食べられました

社会福祉法人 悠々会

『シルバーハウス吹揚』

ハーバリーに出掛けました。潮風が心地良いです。



『ケアハウス吹揚』

毎年、恒例のビアガーデン。
夏バテ防止の為、美味しい昼食を堪能しました。



『デイサービスセンター吹揚』

紫陽花の工作やひまわりで8月のカレンダー作成
しました。毎月の行事で四季を感じています。





医療法人 滴水会

吉野病院	TEL 0898-32-0323	未広町1丁目5-5
介護老人保健施設 燧園	TEL 0898-23-1211	未広町3丁目1-6
居宅介護支援センター ひうち	TEL 0898-25-0560	黄金町2丁目2-5
訪問介護センター ひうち	TEL 0898-32-8555	黄金町2丁目2-5
ひうち園老人訪問看護ステーション	TEL 0898-25-8525	黄金町2丁目2-5
今治市地域包括支援センター美須賀・立花	TEL 0898-55-8872	黄金町2丁目2-5
介護予防センター よしの	TEL 0898-25-6006	北宝来町3丁目2-10
看護小規模多機能 ひうち	TEL 0898-35-1101	未広町3丁目3-6
シルバーマンション ひうち	TEL 0898-35-1102	未広町3丁目3-6

社会福祉法人 悠々会

特別養護老人ホーム シルバーハウス吹揚
 老人短期入所施設 シルバーハウス吹揚
 老人デイサービス デイサービスセンター吹揚
 軽費老人ホーム ケアハウス吹揚

TEL 0898-25-7575
 黄金町3丁目2-6